



3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,056	15.1	163	—	108	—	73	—	70.71

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）株式会社センプレデザイン、除外 1社（社名）—

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年2月期	1,037,200株	2025年2月期	1,037,200株
2026年2月期	—株	2025年2月期	—株
2026年2月期	1,037,200株	2025年2月期	1,037,200株

（参考）個別業績の概要

1. 2026年2月期の個別業績（2025年3月1日～2026年2月28日）

(1) 個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期	5,695	1.7	△59	—	△85	—	△129	—
2025年2月期	5,598	5.5	95	△35.0	85	△48.2	26	△65.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期	△124.89	—
2025年2月期	25.68	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2026年2月期	4,158	79	79	79	1.9	74.79
2025年2月期	3,725	207	207	207	5.6	199.68

（参考）自己資本 2026年2月期 77百万円 2025年2月期 207百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 2027年2月期における業績予想について .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(会計方針の変更) .....	10
(会計上の見積りの変更) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	10
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において当社グループが判断したものであります。なお、当社は、2025年9月1日を取得日として株式会社センブレデザインを連結子会社化し、当連結会計年度より連結財務諸表作成会社に移行いたしました。従いまして、前連結会計年度の連結財務諸表を作成しておりませんので、これらとの比較分析は行っておりません。

当連結会計期間におけるわが国経済は、継続的な賃上げによる所得環境の改善が見られる一方で、日銀の金融政策転換に伴う金利環境の変化や、物価上昇による消費者の生活防衛意識の高まりが交錯し、選択的消費の傾向が顕著となっております。さらに、地政学リスクの長期化や為替相場の変動など、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

家具・インテリア業界におきましては、物流業界における人手不足に端を発する配送コストの恒常的な上昇に加え、輸入原材料価格の高止まり、倉庫・店舗・オフィス等の賃料コストの上昇が事業環境の課題となっております。また、人材獲得競争の激化に伴う人件費の増加等により、依然として厳しい競争環境が続いております。

こうした環境の中で、当社は“日本を「空間時間価値」先進国へ”というミッションのもと、持続的かつ安定的な成長の実現に向け、上質な空間提案力の強化と魅力的な商品ラインナップの拡充に尽力してまいりました。当連結会計期間におきましては、将来のさらなる飛躍を見据え、新規契約ブランドの認知拡大に向けた先行投資を積極的に実施するとともに、ラグジュアリーファニチャー事業における路面旗艦店を出店いたしました。しかしながら、当該旗艦店のオープン時期に遅れが生じたことに加え、急激な円安の影響に伴い売上総利益率が悪化しました。

その結果、当連結会計年度の売上高は6,129,449千円、営業損失57,111千円、経常損失85,077千円、親会社株主に帰属する当期純損失129,757千円となりました。

ライフデザインプラットフォーム事業の単一セグメントである為、セグメントの記載を省略しております。

### （2）当期の財政状態の概況

#### （資産）

当連結会計年度末における資産合計は、4,565,036千円となりました。主な内訳は、現金及び預金1,100,239千円、商品1,533,272千円であります。

#### （負債）

当連結会計年度末における負債合計は、4,486,119千円となりました。主な内訳は、長期借入金1,665,055千円、契約負債1,007,180千円であります。

#### （純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は、78,916千円となりました。主な内訳は、利益剰余金44,346千円であります。

### （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、1,050,239千円となりました。なお、当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりです。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動の結果、211,786千円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失86,961千円、契約負債の増加による収入148,812千円等の計上によるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動の結果、236,198千円の支出となりました。これは主に、新店舗のオープン等に係る有形固定資産の取得による支出162,977千円、保証金差入れによる支出37,775千円等の計上によるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動の結果、479,195千円の収入となりました。これは主に、長期借入れによる収入1,060,000千円、長期借入金の返済による支出499,327千円等の計上によるものであります。

（4）2027年2月期における業績予想について

翌連結会計年度の業績予想につきましては、売上高7,056,620千円、営業利益163,090千円、経常利益108,406千円、当期純利益73,335千円を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループでは、財務情報の期間比較や他社との比較可能性を考慮するとともに、海外からの資金調達必要性が乏しいことを勘案し、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

なお、I F R S の適用につきましては、国内外の諸情勢の変化により、その必要性が高まった際には適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	当連結会計年度 (2026年2月28日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,100,239
売掛金	143,735
商品	1,533,272
未収入金	217,616
その他	124,891
貸倒引当金	△5,495
流動資産合計	3,114,259
固定資産	
有形固定資産	
建物	527,350
土地	350,000
建設仮勘定	16,337
その他	9,346
有形固定資産合計	903,034
無形固定資産	
ソフトウェア	30,130
のれん	21,359
その他	3,788
無形固定資産合計	55,278
投資その他の資産	
敷金及び保証金	453,633
繰延税金資産	9,929
その他	27,327
投資その他の資産合計	490,890
固定資産合計	1,449,203
繰延資産	
社債発行費	1,574
繰延資産合計	1,574
資産合計	4,565,036

（単位：千円）

当連結会計年度 (2026年2月28日)	
負債の部	
流動負債	
買掛金	411,764
短期借入金	30,000
1年内償還予定の社債	60,000
1年内返済予定の長期借入金	775,087
未払法人税等	3,405
未払消費税等	42,376
契約負債	1,007,180
賞与引当金	92,520
その他	228,263
流動負債合計	2,650,598
固定負債	
社債	30,000
長期借入金	1,665,055
資産除去債務	88,182
その他	52,284
固定負債合計	1,835,521
負債合計	4,486,119
純資産の部	
株主資本	
資本金	30,000
資本剰余金	3,000
利益剰余金	44,346
株主資本合計	77,346
新株予約権	1,570
純資産合計	78,916
負債純資産合計	4,565,036

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
（連結損益計算書）

（単位：千円）

	当連結会計年度 （自 2025年3月1日 至 2026年2月28日）
売上高	6,129,449
売上原価	3,019,287
売上総利益	3,110,161
販売費及び一般管理費	3,167,272
営業損失（△）	△57,111
営業外収益	
受取利息	588
為替差益	6,173
助成金収入	1,534
受取保険料	1,087
その他	821
営業外収益合計	10,204
営業外費用	
支払利息	35,477
その他	2,693
営業外費用合計	38,170
経常損失（△）	△85,077
特別利益	
固定資産売却益	27
特別利益合計	27
特別損失	
固定資産売却損	1,911
特別損失合計	1,911
税金等調整前当期純損失（△）	△86,961
法人税、住民税及び事業税	6,530
法人税等調整額	36,265
法人税等合計	42,796
当期純損失（△）	△129,757
非支配株主に帰属する当期純損失（△）	—
親会社株主に帰属する当期純損失（△）	△129,757

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2025年3月1日 至 2026年2月28日)
当期純損失(△)	△129,757
その他の包括利益	—
包括利益	△129,757
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	△129,757
非支配株主に係る包括利益	—

## （3）連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（自2025年3月1日 至2026年2月28日）

（単位：千円）

	株主資本				非支配株主 持分	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計			
当期首残高	30,000	3,000	174,103	207,103	—	—	207,103
当期変動額							
親会社株主に帰属する当期 純損失（△）	—	—	△129,757	△129,757	—	—	△129,757
株主資本以外の項目の当期 変動額（純額）	—	—	—	—	—	1,570	1,570
当期変動額合計	—	—	△129,757	△129,757	—	1,570	△128,187
当期末残高	30,000	3,000	44,346	77,346	—	1,570	78,916

## （4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当連結会計年度 （自 2025年3月1日 至 2026年2月28日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	△86,961
減価償却費	63,950
繰延資産償却額	1,259
のれん償却額	2,373
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2,305
賞与引当金の増減額（△は減少）	△6,427
受取利息及び受取配当金	△588
支払利息	35,477
為替差損益（△は益）	0
固定資産売却益	△27
固定資産除却損	1,911
売上債権の増減額（△は増加）	△13,221
たな卸資産の増減額（△は増加）	12,382
仕入債務の増減額（△は減少）	△299
契約負債の増減額（△は減少）	148,812
その他	77,142
小計	238,089
利息及び配当金の受取額	588
利息の支払額	△34,406
法人税等の支払額	△6,062
法人税等の還付額	13,578
営業活動によるキャッシュ・フロー	211,786
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△30,000
有形固定資産の取得による支出	△162,977
有形固定資産の除却による支出	△16,925
有形固定資産の売却による収入	27
無形固定資産の取得による支出	△8,363
保証金差入れによる支出	△37,775
保証金差入れによる収入	43,823
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△6,408
その他	△17,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△236,198
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	1,060,000
長期借入金の返済による支出	△499,327
社債の償還による支出	△80,000
その他	△1,477
財務活動によるキャッシュ・フロー	479,195
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	454,783
現金及び現金同等物の期首残高	595,456
現金及び現金同等物の期末残高	1,050,239

## （5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社は、ライフデザインプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## （1株当たり情報）

	当連結会計年度 (自2025年3月1日 至2026年2月28日)
1株当たり純資産額	74.57円
1株当たり当期純損失(△)	△125.10円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 2026年2月期より連結財務諸表を作成しているため、2025年2月期の数値は記載しておりません。

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自2025年3月1日 至2026年2月28日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△129,757
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△129,757
普通株式の期中平均株式数(株)	1,037,200
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権6種類 (新株予約権の数2,895個)。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。